



M31に会いたい

M31とは、Mはフランスの天文学者シャルル・メシエがまとめた天体のことで、その31番目の天体がM31、アンドロメダ^{ぎんが}銀河とよばれています。

アンドロメダ銀河というのは、天の川銀河のお隣^{となり}の銀河。銀河とは星やガスなどの大規模な^{だいきぼ しゅうだん}集団の事で、私たちの太陽がある銀河が天の川銀河です。このアンドロメダ銀河は、アンドロメダ^ざ座の方向に望遠鏡^{ぼうえんきょう}などを使わずに肉眼^{にくがん}でも見る事ができます。アンドロメダ座の方向に見える銀河なので「アンドロメダ銀河」というわけです。このアンドロメダ銀河は肉眼で見える事ができる^{もっと}最も遠い天体なのです。どのくらい遠いかというと、光の速さで進んで、だいたい250万年かかる距離^{きより}のところにあります。とんでもなく遠いですね、でもこれが天の川銀河のお隣の銀河なのです。

そう聞くとこのM31に会いたくなってきましたか。会いたくなったら、あと40億年ばかりまってください。そのころになるとこのアンドロメダ銀河は天の川銀河に会いに来てくれます。と言うか、ぶつかってきます。そしてその後20億年^{くらい}かけて天の川銀河と、アンドロメダ銀河は合体してひとつの銀河になってしまいます。そしてその銀河、もう名前がついています。その名前は「ミルコメダ」。



M31(アンドロメダ銀河) 撮影 疋田 純之

(解説員：疋田 純之)